政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2015年２月27日～３月12日） 鶴田　欣也：鶴田石材株式会社代表取締役社長

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向		良くなっている	3ヶ月前と比較してほぼ横這いと認識している。全国中小企業団体中央会が実施している中小企業月次景況調査（２７年１月末）によると、１月のDIは９指標中８指標が悪化した。原油価格下落の好影響が見られるが、その分の運賃や取引価格の値下げ要求を懸念する声が出ており、売上高アップになかなか繋がっていない。１年前は消費税増税前ということで消費に勢いがあったが、増税後の反動減の影響は大きかった。ようやく増税後の反動減から脱しつつあるものの、需要や消費に力強さが感じられない。
１	2015年３月上旬から中旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2014年12月上旬から中旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。		
経済の好循環実現に向けた取組について		－	１．主に小売・サービス分野等のアルバイトの意欲向上を図るため、請負化等による個人事業者への転換を図る。意識を変えたアルバイトには賃上げをする。中小企業にとって人材はまさに「人財」であり、人手不足の中で地域経済を支えるためにも、事業者含め個々人が、自立化し、自主的に事業を行い、自分で経済的地位の向上を実現する気概を醸成させる。 ２．高度成長期につくられたインフラ施設のトータルコストの縮減につながる維持管理・更新の推進を加速化させる。 ３．商店街に福祉・医療・介護・子育て等の複数の生活サービスを集めたコンパクト拠点を設置し、人間と人間の結びつき、絆、助け合いなど支え合いによって地域活性化を図る。
２－１	足下の企業収益の拡大が速やかに賃金上昇や雇用拡大につながり、更なる消費や投資の拡大に結び付くためにとるべき対応について、具体的なお考えがございましたら、500字以内でご記入ください。		
２－２	好循環が生まれ始めている一方、非正規労働者や中小企業等への波及が重要との指摘もございます。そうした観点から強化すべき取組について、お考えがございましたら300字以内でご記入ください。	－	中小企業は、円安等に伴う原材料価格、エネルギーコストや人件費等の増加によって、収益環境の改善には至らない厳しい状況が続いている。イノベーションの促進により生産性の向上や集約化・協業化の強化を図るとともに、小規模企業の団結による、①共同事業を活用した生産性の向上、②価格転嫁力の強化、③地域人材の確保と供給など組合の取組みを強化すべきである。